

## 神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和7年度 第2回みどり支援学校運営協議会	
開催日時	令和7年10月29日(水)9:30~11:15	
開催場所	みどり支援学校 会議室	
出席者	神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会委員7名(本校校長を含む。3名欠席) 神奈川県立みどり支援学校 学校運営協議会事務局教職員9名(2名欠席)	
次回開催予定日	令和8年2月20日(金)	
問合わせ先	みどり支援学校 副校長 堀野 史雄 電話 045-471-7941 Fax 番号 045-474-4707	
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由
審議(会議)経過	<p>審議(会議)事項</p> <p>(1)学校長挨拶            ・お忙しい中ご参加くださいありがとうございます。日頃より本校の教育活動にご協力いただき感謝申し上げます。本日は中間評価にあたり、学部長・グループリーダーより説明申し上げます。忌憚のないご意見をお願いいたします。校内視察では学校の現状、課題等を実際に見ていただきたいと思います。</p> <p>(2)会長挨拶            ・日々本当に忙しい委員のみなさまですのでご欠席が何名かいらっしゃる中ですが、忌憚のないご意見をいただき、協議が盛り上がるようぜひご協力ください。</p> <p>(3)中間評価について            ○教育課程・学習指導            ①小中高の一貫性・系統性実現に向けて 10 教科について各学部がシートに記入、教科会にて課題と改善策を検討            委員)10教科に増やして先生方の所感に変化等あったのか?            →現時点ではシートに記入した段階であり、これから検証となる。            委員)学部を超えて教科を話し合う場は貴重かと思うが、児童生徒の実態も異なる中課題が出てきたりしたらまた教えていただきたい。</p> <p>②新書式での年間指導計画の作成・運用            委員)どういう観点で作成されるのか?            →本校では昨年度まで単元配列表を作成しており、今年度から年間指導計画作成が始まった。単元配列表であると引継ぎに課題があったため、内容や系統立てた指導ができるように見直した。            委員)先生方の負担にならないのか?            →学習指導要領を根拠にしているので負担ではないと思う。            委員)労多くして功少なし、とならないようにできると良い。</p> <p>③教育課程編成表について            ・他校の教育課程編成表や日課表を参考に見直しを行っている。</p> <p>○児童生徒指導・支援            ①中学部は自立活動の内容 6 区分 27 項目について学部会で確認を行った。また、他県の具体的な資料や例示を参考に生徒の実態把握を継続して行っていく。            委員)学習会のその先は何が期待されるか?            →ベテランの教員は資料を参考に自立活動の指導の充実が図られると思われる。経験の浅い教員は学習指導要領だけでは理解が難しいこともあるので、今後活用していきたい。            委員)自立活動の項目はみどりオリジナルのものか?            →委員)学習指導要領を各県独自の取り組みで資料作成している。            委員)資料の中にネガティブな表現の多いものがある。どういう視点で子どもの課題を捉えようとしているのか知りたい。            →支援シートを用いて 3 年間の目標を立てている。実態に応じて達成可能な目標を立ててい</p>	

審議(会議)経過	<p>る。</p> <p>委員)自立活動の解説書にはネガティブな面だけではなく強みを合わせて実態把握するよう記載されている。資料のチェックリストだとネガティブに寄ってしまう傾向が懸念される。強みを生かして弱みを補う視点も大切に進めてほしい。</p> <p>委員)自立活動に特化した指導も大切だが、学校生活全般で取り組んでいくことが大切。何を伸ばすのかきちんと確認し、全ての活動に生かされると素敵と思う。</p> <p>委員)保護者としてはネガティブな面を拾われるより、できることを拾っていただけると嬉しい。</p> <p>委員)就労選択支援が始まる中、アセスメントは重要と考える。アセスメントは行う者の資質により変わてくる恐ろしさがある。評価する側の視点が大切。何かアプローチして評価しているのか、何もアプローチせずに評価しているかで全く結果が変わる。評価する側の視点を合わせてほしい。そこがしっかり捉えられてないと目標値が設定できない。できるだけ誤差がないように合わせられると良い。</p> <p>②授業について語り合い、より良い授業づくりを目指す集団づくりとして、校内研究にて授業のリフレクションを行い、授業力のベースアップを図った。リフレクションは確実に増加しており、授業づくりへの意識の向上が見られている。</p> <p>○進路指導・支援</p> <p>①「キャリア教育の視点に立った育てたい力」をみどり支援学校全校の考えをもとに作成していく。当初は高等部のみと捉えていたが、全児童生徒についてまず担任から考える方法に軌道修正した。</p> <p>委員)高等部だけではなく全校で考えるのは素晴らしい。12年間の育ちが分かる。</p> <p>②高等部校内実習評価について新書式を作成した。学部として書式の統一、3年間の推移を確認できるようにした。進路面談や進路の方向性を決めていくにあたり担任の資料としている。生徒が主体となって進路決定できるよう、実態に合わせて写真等を活用していく。</p> <p>委員)どう評価して指導していただけるか、保護者が見られない部分が多い中でこの取り組みは助かる。</p> <p>委員)保護者と共有する場面はあるのか？</p> <p>→面談などで共有する。授業参観の一環として実習見学を行っている。</p> <p>委員)8つの視点とあるが、資料は5つしか見えない。</p> <p>→ほかに正確性、指示・理解、衛生面・整理整頓がある。</p> <p>委員)生徒によりいろいろな見方があると思う。一人の教員が見るのではなく、複数の目で評価する必要があるのでは。</p> <p>→記入者は一人となっているが、担任間で共有し複数の目で評価できるように考えている。</p> <p>委員)実習には複数の人間が関わっていると思うので、様々な角度から評価をしてほしい。</p> <p>→そうできるよう、評価の観点を作成した。</p> <p>委員)統一書式を作ったのは良い取り組み。学校目標がリンクされた評価表であってほしい。レーダーチャートはバランスを見るものだが、バランスが良いことを目指すのではなく何ができるかできないのかを保護者と共有するためのツールとして使ってほしい。絶対評価の中で前向きなチャレンジのためのツールとして活用してほしい。</p> <p>委員)自立活動の話ともつながる。強みに注目してほしい。</p> <p>委員)保護者としても、自分の知らないところから強みを見つけていただけるのはありがたい。</p> <p>○地域等との協働</p> <p>①地域連携学習会を保護者対象、地域の方対象の2回実施した。</p> <p>委員)保護者の方にお話しするときに情報過多が課題と感じることがある。それぞれのステージでやらねばいけないことを分かっていてもできない、というところをフォローする目的で行った。</p> <p>委員)参加人数は少なかったが小規模で距離感近く伺えてとてもよかったです。</p> <p>②小学部は学校間交流を東本郷小学校と行っている。今年度は更なる双方向を目指して実施した。また、分教室は職業体験の新しい体験先を開拓して実施している。</p> <p>委員)東本郷小学校側はどう捉えているか？子どもたちがどう感じたか聞いてみたい。</p> <p>→先週終了したばかりなので、今後見えてくる。</p> <p>→委員)東本郷小学校に学校運営協議会に伺うと子どもたちが「今度(みどり支援学校に)行くんだよ」と話しかけてくれる。受け入れてくれていると感じている。</p> <p>→委員)居住地交流であると、行って終了となる。わが子は新たな一面が見えるが、先方の子どもたちや先生方がどう感じたか知りたい。</p> <p>→委員)行事として行うのではなく、地域の学校に当たり前に行けるようになると良い。</p> <p>委員)先方の評価を知らなくては、行く目標が持てない。</p> <p>委員)小中学校も課題に捉えている。共同学習としてどう学び、還元されるのか、課題意識は</p>
----------	---

	<p>ありながらも実践は難しい。特別支援学校から、保護者から声を上げてもらう取り組みも大切。</p> <p>○学校管理・学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①－1福祉避難所マニュアルの改訂を進めている。横浜市の様式にアップデートをしている。他校のマニュアルを参考に整えている。</li> <li>・①－2避難訓練では避難経路を変えて実施した。非難が難しい児童生徒の対応が課題となっており、確認係の任務を担える教員が足らない。必ず発災時に出動できるよう検討していきたい。</li> <li>・①－3みどり防災デーでは体験エリアを複数設置した。</li> </ul> <p>委員)みどり防災デーを見学させていただいた。子どもたちが様々に反応している様子を見ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①－4引き渡し訓練は初回が11月からとなる。久しぶりの実施となり、全家庭を対象としているが、児童生徒数の増加に伴い、一斉実施は難しく回数を増やして分散実施とする。</li> <li>・②私費会計システムの見直しを行っている。第1回の徴収を5月から4月に変更できるよう検討している。</li> <li>・③教員のICT推進の一環としてFormsによるアンケートへの移行を行った。効率化につながったが、半年間で12回のアンケートがあり時期が重なると回答に負担という課題もあった。</li> </ul> <p>事務連絡 第3回については日程調整をさせていただく。</p> <p>(4)会長挨拶 ご協力ありがとうございました。引き続きよろしくお願ひいたします。</p> <p>(5)校長挨拶 貴重なご意見ご助言をいただきありがとうございました。校内職員だけでは気づけない新たな視点からのご意見を生かしていきたいと思います。</p> <p>(6)校内視察</p> <p>(7)各部会 ・地域連携安全部会については欠席者多数のため中止</p>
会議資料	<p>①令和7年度第2回次第(本紙)      ②令和7年度神奈川県立みどり支援学校運営協議会運営要項      ③学校教育計画(令和6年度～令和9年度)      ④みどり支援学校グランドデザイン      ⑤みどり支援学校4年間の目標達成のためのロードマップ      ⑥令和7年度みどり支援学校 学校評価目標設定      ⑦学校目標達成に向けたマトリクス      ⑧令和7年度みどり支援学校 学校評価中間評価(各グループ・学部)</p>